

## 第 8 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 8 月 2 0 日 (金曜)		午後 1 時 3 0 分 開会	
	休憩 14:36-45 15:13-14			
	午後 3 時 2 6 分 閉会			
	休憩時間： 0 時間 1 0 分		会議時間： 1 時間 4 6 分	
会議場所	役場 3 階 委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員	正村紀美子
	副委員長	黒田 栄継	委員	堀 切 忠
	委員	常通 直人	委員	橋本 和仁
	委員	西尾 一則		
	委員	柴田 正博	議長	早 苗 豊
説明員	健康福祉課長	大野 邦彦	同教育推進係長	橋本 岳
	同課長補佐	久保 禎巳		
	保健推進係長	吉川 泰子		
	教育推進課長	有澤 勝昭		
	同課長補佐	清末 有二		
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長：担当課の説明を求める。</li> <li>・健康福祉課長：8月17日時点の状況について課長補佐から説明する。</li> <li>・課長補佐：資料説明（8月6日の委員会説明以降の状況）</li> <li>・委員長：質疑はないか？</li> <li>・橋本委員：デルタ株について子どもの感染が増えている報道がされている。学校等の集団感染も鑑みると、その年代の早期接種は考慮しているか？</li> <li>・課長：ワクチン供給の安定確保が前提となる。ご意見のことも意識しながらも、手元にお示しした年代別の接種を基本に取り進めていきたい。</li> <li>・橋本委員：臨機応変な配慮に努めていただきたい。改めて見解はいかがか？</li> <li>・課長：趣旨は十分理解する。コールセンターへの照会にもそのような要望はある。た</li> </ul>				

だ、まずは、計画どおり接種率の向上を第一優先としたい。

- ・ 常通委員：10代への接種時間等の工夫は？
- ・ 課長：統一的な対応ではないが、土曜日及び夜間の接種など、医療機関によっては工夫を施している。
- ・ 常通委員：例えば12～19歳の（9月前の接種など）個別対応も可能なのか？
- ・ 課長：10月以降の工夫としてご理解いただきたい。
- ・ 黒田委員：当初の計画と現状の予約状況について、その分析はいかがか？余裕があるなら子どもの前倒しも可能ではないか？
- ・ 課長：3月から医療従事者の接種、一般はその後となっている。総接種回数は16,000回。ほぼ計画・予定どおりと分析している。
- ・ 黒田委員：40代以上の予約率向上優先か？それとも弱年齢層の優先か？
- ・ 課長：担当課としては、接種希望者に迅速に実施し、集団免疫の確立を目指している。その上で、状況を見定めながら所期の目的達成に努めたい。
- ・ 黒田委員：前回の質疑として、外国人実習生等への対応があった。その後、問題や課題について改善等の取組みはいかがか？
- ・ 課長：総数は55件であり、予約を相当数受けている状況である。ホームページでも工夫している。
- ・ 委員長：他に質疑はないか？
- ・ (質疑なし)
- ・ 委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

#### イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

資料2

- ・ 委員長：担当課の説明を求める。
- ・ 健康福祉課長：資料説明（「高齢者施設等クラスター対策」として、新規に実施予定の3事業＜①感染管理認定看護師による実地指導等、②検査費用助成、③クラスター発生時の高齢者入所施設等従事者向け宿泊場所の確保＞を説明）
- ・ 委員長：①について、意見・質疑はないか？
- ・ 橋本委員：謝礼の予算は？
- ・ 課長：1回あたり6,000円。
- ・ 常通委員：高齢者施設等の「等」は何を定義するか？子どもの施設は入るか？
- ・ 課長：（健康福祉課として）3月以降の意見交換先は、介護・老人施設であり、これらを定義している。
- ・ 常通委員：町内にはさまざまな施設があるので、広い視野で検討をいただきたいが、いかがか？
- ・ 課長：ご意見を踏まえて対応していきたい。今回は当面として急務の分野である。
- ・ 委員長：②について、意見・質疑はないか？
- ・ 堀切委員：いつでも、だれでも、なんどでもPCR検査ができるようにしていただきたいが、子どもたちへの施設についてはいかがか？
- ・ 課長：ワクチンの接種率の向上を優先にしているが、総合的な対策として継続して考えていく。

- 堀切委員：公立芽室病院では（PCR）検査費用が2万円と高いが、町民への補助は検討しているか？
- 課長：費用の多寡と検査精度の関係もあり、それぞれの（検査する人の）目的もあるため、慎重に捉え、ひとつの課題として認識している。
- 正村委員：助成経費の2分の1の上限は？
- 課長：上限設定はしていない。
- 正村委員：12月までの期限は、当面か？
- 課長：コロナのまん延防止が目的であり、ワクチン接種による（感染拡大防止等）罹患率も見ながら、継続の要否を検討していきたい。
- 常通委員：対象経費に抗体検査は入るか？「抗体検査」と「抗原定量検査」は異なるのか？
- 課長：抗原定量検査とは、比較的安価な検査であり、抗体検査とは異なる。
- 常通委員：定量検査の費用は？
- 課長：数千円だと認識している。
- 委員長：③について、意見・質疑はないか？
- 正村委員：宿泊場所の確保に記載のある施設は、健康福祉課所管以外もあるが、全庁的に整理されているのか？
- 課長：健康福祉課が個別に担当課と協議したものである。
- 正村委員：「空き町有施設」とは？
- 課長：他の自治体によっては、「ホテル」や「民間施設」もある。本町によっては、その選択は現実性が乏しいため、宿泊が可能な町の施設として選定した。
- 正村委員：「集団施設かっこう」なども対象として適当ではないか？施設によっては本来の利用をしている町民等が存在する。その方々との使用料や用途の違い及び説明方法はどのように考えているか？
- 課長：現行ルール（各施設の根拠例規等）の中で対応しようと考えている。
- 正村委員：手続き（契約・行政処分）が混在しているが問題ないか？
- 課長：公の施設として例規があり、規定を適用させたい。
- 正村委員：コロナ対策であるなら災害とみなせるのではないか？その際は、地域防災計画（避難施設）と整合を図るべきではないか？
- 課長：地域防災計画とは一線を画する整理とした。いただいた意見を踏まえていきたい。
- 正村委員：クラスター発生時の振り分けなどの想定は？
- 課長：現段階では具体的なケースの想定に限界はある。事態が発生した際には、各施設において緊急的な整理を要することも想定している。
- 正村委員：使用料減免が原則か？
- 課長：個々の例規による。
- 正村委員：有料と無料の振り分けは？
- 課長：健康福祉課が判断する。
- 正村委員：9月からスタートとしているが、何月までか？
- 課長：3月までが基本となる。

- ・正村委員：制度の不安定さが否めない。再考すべきではないか。緊急時の対応か、災害時の対応かなど、制度設計の精査が必要ではないか？
- ・課長：今回の提案事項は緊急時の対策と考えている。いただいた意見を踏まえながらさらに検討し詰めていきたい。
- ・常通委員：公立芽室病院の旧看護師宿舎とは何部屋あるのか？利用可能想定人数と利用部屋数などの設定は？
- ・課長：5部屋ほどだったと思う。現在は出張医等の利用。1階は院内保育。入口（玄関）を変えて動線を変えることで衛生環境の確保は可能と捉えている。
- ・常通委員：既存利用者への配慮は十分にすべきで、可能であれば単独機能としてほしいかがか？
- ・課長：想定人数を設定しかねるなど、制度設計の精度は低いかもしれないが、継続して課題解決に努めたい。
- ・堀切委員：自宅療養者から家庭内感染の実態もある。クラスター対策として町内の（自宅療養）人数は把握しているか？
- ・課長：自宅療養者の数は把握していない。
- ・堀切委員：把握が必要ではないか？
- ・課長：十分踏まえていく。
- ・委員長：他に意見・質疑はないか？
- ・（質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

#### ウ GIGA スクールの進捗状況について 資料3

- ・委員長：担当課の説明を求める。
- ・教育推進課長：調査事項の背景説明。
- ・教育推進係長：資料説明（6月30日の委員会で説明した後の状況について説明。「6～8月の進捗状況」及び「各校における取組事例」を説明。）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・常通委員：自宅への「タブレット」持ち帰りについて、学校の差はあるか？
- ・教育推進課長：学校からは、臨時休業等の持ち帰りについて、すべての学校で不可能ではないという回答となっている。
- ・常通委員：授業が通常どおりできるという解釈で良いか？
- ・課長：1クラス35人が2週間自宅待機になったことを前提にした際の試行は可能だった。ただ、オンライン授業の手法について、学校・学年・学級によって様々な選択があり、別途判断すべき要素はある。
- ・橋本委員：持ち帰りの際の通信料の経費負担はどのように考えるか？
- ・課長：今年度は非常時における限定対策。家庭にWi-Fi環境がない家庭には町の備品貸付（通信費用は町負担）としている。
- ・堀切委員：各校における主たる課題は何か？
- ・課長補佐：「10年後の教室検討チーム」によると、低学年への浸透の困難性、タッチ

- ペンの感度の濃淡、meet (zoom で言う「ブレイクアウト」) の改善・充実等がある。
- ・黒田委員：臨時休校を「休み」にせず、勉強ができるという段階まで到達することが所期の目的と捉えるが、現時点で、その実現の可能性は実感できるか？
  - ・課長：「学びの保証」と「学力の向上」はイコールではないが、この両面を実現できるように、この機能発揮を目指している。
  - ・黒田委員：GIGA スクール構想の到達点に向けた今後のスケジュールはいかがか？
  - ・課長：現時点ではまだ手探りの段階であり、短期的視点での取り組みとなっていることが現実である。とはいえ、「10年後の教室検討チーム」として、長期的視点で事業に取り組んでいる。各校の上半期や学期ごとの振り返りなどを総括しながら、一步一步進んでいきたいと考えている。この前提で言えば、11月に事業の評価・検証を予定している。
  - ・常通委員：手元の資料では8月までとなっているが、9月以降のスケジュールはいつ頃できるのか？
  - ・課長：予定通り進んでいない。若干遅れているが、継続して検討していきたい。
  - ・常通委員：事情は理解する。今後のスケジュールについてはいかがか？
  - ・課長：ひと月ひと月状況は変わっている。学校現場は新たな取り組みとして、試行錯誤を繰り返しながら模索している。定期的に(厚生文教常任)委員会に説明していきたい。
  - ・橋本委員：家庭環境にWi-Fi環境がない場合(全体の約9%)、町が負担するのは理解する。(Wi-Fi)環境が存在する家庭の通信料負担はいかがか？
  - ・課長：先ほど申し上げたように、今年度については、Wi-Fi環境がない家庭には町が通信費負担をし、環境がある世帯には個々に負担していただくという基本的考え方である。来年度以降の対応については、別途検討となる。
  - ・委員長：他に意見・質疑はないか？
  - ・(質疑なし)
  - ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。
- 
- ・委員長：自由討議について諮る。「ア」についていかがか？
  - ・(意見なし)
  - ・委員長：継続調査していく。
- 
- ・委員長：「イ」についていかがか？
  - ・正村委員：趣旨は理解するものの、制度設計が不安定と感じる。調査を深めてより良い制度になるよう期待する。
  - ・黒田委員：今後検討する旨の答弁もあったので、複合的な視点をもって継続調査していくこととしたい。
  - ・委員長：ほかに意見はないか？
  - ・(意見なし)

- ・委員長：「ウ」についていかがか？
- ・黒田委員：各校の取組の結果、何を目指していくのかなど、新たな方向性を見出すような視点にステップアップするよう、委員会も主体性をもって継続調査していきたい。
- ・常通委員：学校の先生たちも苦悩と負担を抱えながら、事業に取り組んでいることが伝わってきた。委員会も同じ視点に立ち、事業をバックアップできるように調査を継続していきたい。
- ・（意見なし）
- ・委員長：以上で自由討議を終了する。

### 3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について  
正副一任とする。

#### (2) その他

- ・常通委員：今年度の事業として、学校にエアコンの設置がある。この状況について調査してはいかがか？
- ・委員長：正副で確認し、次回報告する。
- ・議長：現地調査が必要であれば、工夫を凝らしながら調査を進めていただきたい。現地に赴くべきか、他の手法がないかなど、精査・検討を提案したい。

事務局なし

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	---	----	----

令和3年8月20日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎